

# visionOSのハイライト

visionOSのアップデートにより、空間コンピューティングがさらに進化します。ボリュメトリックアプリのサポート強化、パワフルな新しいエンタープライズAPI、新しいTabletopKitフレームワークなどが導入されました。

## Volumetric API

- 奥行きとスペースを最大限に活用し、共有スペースでほかのアプリと横に並べて実行できる、魅力的なアプリを構築できます。
- SwiftUIのシーンモディファイア(修飾子)である`windowResizability`を使ってボリュームのサイズを変更できます。

## エンタープライズ向けvisionOS

新しいエンタープライズAPIを通じて、バーコードの空間的スキャン、Apple Neural Engine、オブジェクトトラッキングのパラメータなどを利用できるようになります。

## TabletopKit

テーブルを中心としたコラボレーション体験を構築しましょう。この新しいフレームワークでは、カードや駒などのアイテムの操作の処理、配置やレイアウトの設定、ゲームボードの定義を行えます。

## 入力

ユーザーの手をデジタルコンテンツの前と後ろのどちらに表示するかを設定できるようになりました。

## シーン認識機能のアップデート

- あらゆる方向の平面を検出できます。
- ユーザー周囲の表面にオブジェクトを固定できます。
- ルームアンカーを使って、部屋ごとのユーザーの周囲の状況を反映できます。
- visionOS向けの新しいObject Tracking APIにより、ユーザーの周囲にある個々のオブジェクトにコンテンツをアタッチできます。

visionOSでの開発をこれから始める方は

[developer.apple.com/jp](https://developer.apple.com/jp)でvisionOSのPathwayを確認しましょう >